

週刊 大貫のり夫

市政ファイル No.535



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2016年8月31日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

やっと重い腰をあげました

公立学校等の放射能汚泥移動へ

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故で、放射性物質に汚染された高濃度の汚泥合計約3トンを5年以上の間、市内の小中学校など17校に暫定管理されていました。その汚泥が鶴見区末広町にある市の北部汚泥資源センターへ移管されることになりました。

同センター敷地内にコンクリート造りの建物を新設し保管としています。冬休みや春休みを使って移動するとのことでした。

これでやっと少し安心できます。放射能被害を心配する父母など市民の声とこれまでの議会での追及が実を結びました。

問題の汚泥は放射性セシウム濃度が1㎡あたり8,000ベクレルを超



放射能汚泥の管理状況を調査する私・大貫＝2014年5月22日、あかね台中学校

える「指定廃棄物」です。各校の雨水利用施設の貯水槽にたまってたもので、ドラム缶に入れ保管されていました。本来、その処理の責任は政府にあり、5年以上もの間、教育現場に放置してきたことは環境省の怠慢です。（2面に続く）

無料法律相談

次回は9月15日

予約制（大貫）
090-5311-1879

許されない 政府目線の市教育委員会

(1面より) 同時に問題なのは横浜市教育委員会の姿勢です。全国どこを探しても「指定廃棄物」を公立校に置いているケースなどありません。なぜ、横浜市だけが5年以上学校現場に暫定管理しつづけていたのか。政府の顔色をうかがい、それをよしとしてきたのか。教育委員会の体質そのものが問題です。

理解できない市教委の姿勢

横浜市教育委員会は、文科省の方針に従って、教育の面で原子力推進のための原子力教育をすすめてきました。原発事故が起きた2011年度



放射能副読本の使用を中止するよう教育委員会に申し入れをする日本共産党市議団＝2012年4月11日、教育委員会会議室。

には、国が作った原発安全神話に基づいた放射副読本を使って基本的な放射線教育を進めるとして、市立小・中・高・特別支援学校の全児童・生徒分28万部の副読本を注文しました。

この副読本は、2011年に文部科学省が「学校教育における指導の一助として使用していただくため」に、原発を推進する原子力業界広報団体「日本原子力文化振興財団」に委託して作成。全国の希望した学校に配布するなど、活用を進めていたものです。

今後も教育行政をチェックし、子どもたちの命・健康を第一に守るべき教育委員会に立ち戻らせなければなりません。

市立学校雨水利用施設の汚泥調査結果(単位: Bq/kg)

	学校名	H25.10.4 記者発表	
		H25.10.4 記者発表17校	重量 (kg)
1	港南台ひの特別支援学校	25,100	23.5
2	あかね台中学校	19,600	35.4
3	下野谷小学校	13,200	63.2
4	南山田小学校	12,300	142.2
5	末吉小学校	11,300	832.0
6	軽井沢中学校	11,200	83.6
7	森の台小学校	10,900	57.4
8	杉田小学校	10,400	64.3
9	都筑小学校	9,690	103.2
10	東山田中学校	9,540	332.0
11	早渕中学校	9,410	217.1
12	青木小学校	9,240	105.6
13	東山田小学校	8,550	152.0
14	十日市場中学校	8,210	113.2
15	茅ヶ崎東小学校	8,110	395.8
16	山下みどり台小学校	8,070	141.2
17	中山中学校	8,030	47.1

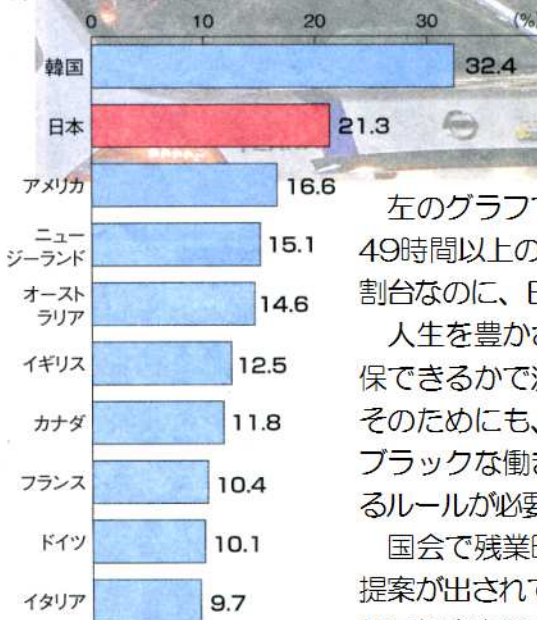
帰宅するサラリーマン 東京都内



おおのい豆電球

左の図表は、世界の長時間労働者の割合です。8月27日付日刊赤旗記事「長時間労働をなくすには」より転載。

世界の長時間労働者(週49時間以上)の割合(2013年)



労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2016」から

左のグラフで分かるように、労働時間が週49時間以上の労働者の割合が欧州諸国では1割台なのに、日本では2割を超えています。

人生を豊かさは、どれだけ自由な時間を確保できるかで決まるのではないのでしょうか。そのためにも、サービス残業をはじめとするブラックな働き方をなくし、人間らしく働けるルールが必要です。それが政治の仕事です。

国会で残業時間の上限を規制する野党共同提案が出されています。41年ぶりの画期的な共同提案を通すためにも国民的な運動が求められています。

加藤リカさん青葉区デビュー



次回総選挙神奈川8区に立候補予定してる加藤リカさんが27日、青葉台コミュニティホールで開かれた党青葉区後援会納涼のついででデビューしました。加藤リカさんは緑区の市政対策委員長で、東京学芸大学(小学校教員養成課程学校教育)を卒業し、都内の小学校・高校などで教鞭を執っていました。



すくらんぶる 交差点

ヒロシマ・ナガサキ71年
米軍ジェット機墜落事件39年

2016

平和のつとめ

とき：10月8日（土）

午後1時30分～4時15分

場所：山内地区センター3Fホール

あざみ野駅下車徒歩3分

講演1. 沖縄・高江の現地ルポ

弁護士 馬奈木巖太郎さん

（東京合同法律事務所）

講演2. 高校生と学んだ平和

吉池俊子さん

（神奈川県歴史教育者協議会会長）

参加費：500円

主催：2016平和のつとめ実行委員会

（事務局：原水爆禁止横浜北部協議会）

連絡先：Tel984-0468、塩野翔夫方

9月6日 10時～

本会議傍聴を

小児医療費助成制度の対象を小6に拡大し、拡大年齢について一部負担金導入議案が上程され、質疑が行われる予定です。

戦争法強行採決から一年
「あの日を忘れない！」

怒りの
ちようちんデモ

予定：9月16日（金）
午後6時半集合～デモ

場所：青葉台公園（きのこ公園）

主催：戦争法廃止緑・青葉・都筑
区連絡会



メダカの独り言 台風シーズン到来。
地球温暖化で台風が凶暴化しているらしい。横浜でも避難勧告が相次いでいる。台風9号では、鶴見川がいつ氾濫してもおかしくない危険な水位の直前に。台風時には外出を控え、情報にアンテナを立てよう。(K)